

北海道教育委員会教育長 様

北海道美瑛高等学校長 越 坂 直 広

次のとおり平成30年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 学習意欲を喚起し、基礎学力の確実な定着を図る。 (2) 基本的な生活習慣の定着と思いやりの心、自他を尊重する態度を育成する。 (3) キャリア発達への支援と進路実現に向けたきめ細かな指導を行う。 (4) 健康な心身と生命を尊重する態度を育てる。 |
|---|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより・ホームページ、新聞等への記事の提供など昨年以上に取り組み、保護者や地域のアンケート結果において向上が見られた。 ・今年度始まったコミュニティ・スクールについては関係各位と有益な情報交換、情報共有ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省が改善されていた。 ・コミュニティ・スクール等の取組において、学校の様子がよくわかり大変良かった。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修や新聞記事の提供による啓蒙活動を次年度も継続する。 ・学校だより等の情報発信やコミュニティ・スクール等の地域との連携をより充実させる。 	
教育課程 ・ 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びにつながる授業を目指し、より一層の研修に努める。 ・英語教育の充実発展を目指し、さらなる研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実をさらに図ってほしい。 ・生徒の個々に合わせたきめ細かな指導を継続してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に「わかる授業」の実践に繋がるような教材作成等の工夫と充実を努める。 ・義務教育段階も含めた基礎基本の確実な習得や、町と連携した国際理解に資する英語教育の充実等を活用していく。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や学校行事はもちろん、生徒との良好なコミュニケーションを図ることができた。また、スクールカウンセラーやパートナーティーチャー等、外部教育力の活用も行われた。 ・マラソンのボランティアや募金活動等、様々な場面でボランティア活動を実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の個々に合わせたきめ細かな指導を継続してほしい。 ・ボランティア活動等、様々な美瑛高校生の活動が印象的だった。次年度も継続してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動をさらに充実させ、よりよいものとする。 ・引き続き外部教育力の積極的活用を図る。 	
進路指導 ・ キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生における進路指導について、全教職員一丸となって取り組むことができた。 ・1年生や2年生におけるキャリア教育の取組についても昨年度より充実することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も進路決定に向けた取組に期待したい。 ・美瑛高校のキャリア教育をさらに充実させてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の進路指導について、さらにきめ細かな指導を展開する。 ・1・2年生のキャリア教育の内容を関係機関を活用しながら発展させていく。 	
健康 安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室や講演会等、外部教育力を活用した取組を行うことができた。 ・避難訓練等とおして危機管理意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も様々な取組を充実させてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な行事について、外部教育力を活用した取組を行いながら、LHRや総合的な学習の時間の活用など多方面からの取組も連動しながら充実を図る。 	
公表方法	： 学校HP及び学校だよりに掲載し地域住民に公表する。	